

選考試験 専門記述式問題（学芸員（近現代美術）／博物館学）

問題 1

次の文章は、ある国際機関が、2022 年にそれまでの定義を修正して採択した新たな「博物館定義」の日本語版である。これを読んで、以下の各問いに答えなさい。

博物館は、有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈、展示する、社会のための非営利の常設機関である。博物館は一般に公開され、誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む。倫理的かつ専門性をもってコミュニケーションを図り、コミュニティの参加とともに博物館は活動し、教育、愉しみ、省察と知識共有のための様々な経験を提供する。

- (1) この国際機関名について、アルファベット表記と漢字表記でそれぞれ答えなさい。
- (2) 今回の定義は、それ以前の定義と比べて、下線部などいくつか大きな変更点がある。
そこで、下線部以外の変更点を指摘した上で、変更の持つ意義を、社会的な背景を踏まえて 150 字程度で述べなさい。
- (3) 下線部について、博物館の活動として考えられる事例を 1 つ示しなさい。

問題 2

次に関する言葉の意味や定義を 80 字以内で説明しなさい。(1)・(2)については、美術品の展覧会を準備・開催するプロセスの中での用語として記述すること。

- (1) コンディションレポート
- (2) シーズニング
- (3) エコミュージアム

問題 3

小学校と中学校の学習指導要領には、学校教育における博物館等の利用について言及があり、各教科や「総合的な学習の時間」での利用についても示されている。このことについて次の各問いに答えなさい。

- (1) 「総合的な学習の時間」における博物館施設の利用として考えられる事例を答えなさい。
- (2) 学校教育に博物館が利用される場合、博物館への見学のほか、学芸員が学校に出向いて行う場合もある。このような活動を何というか。次の A～E のうちから 1 つ選んで記号で答えなさい。

- A アウトカム B アウトサイド C アウトソーシング
D アウトプット E アウトリーチ